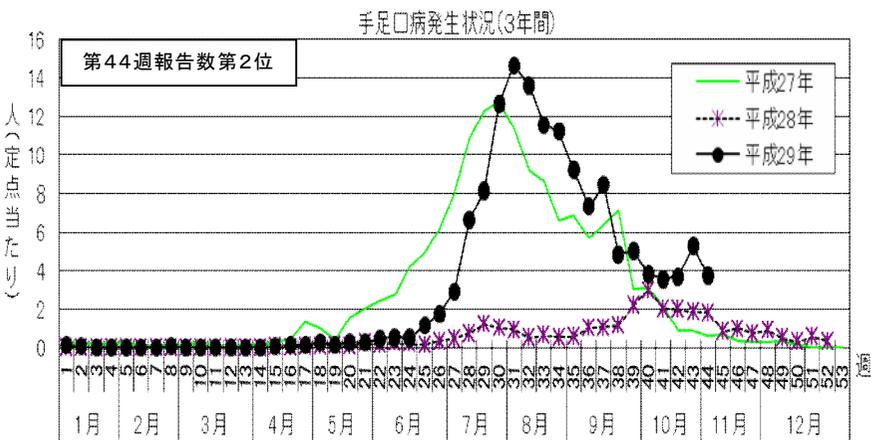
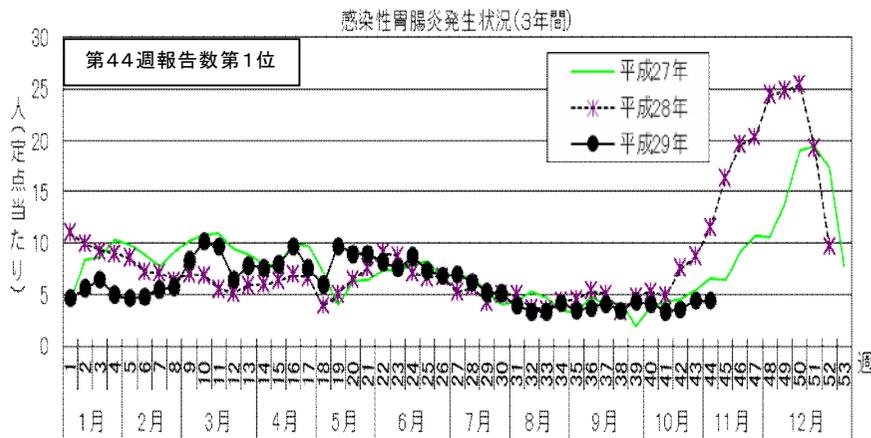


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成29年10月30日（月）～平成29年11月5日（日）〔平成29年第44週〕の感染症発生状況

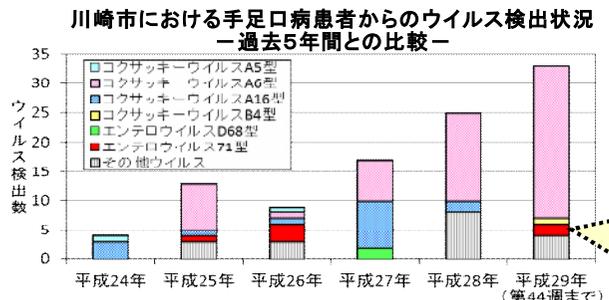
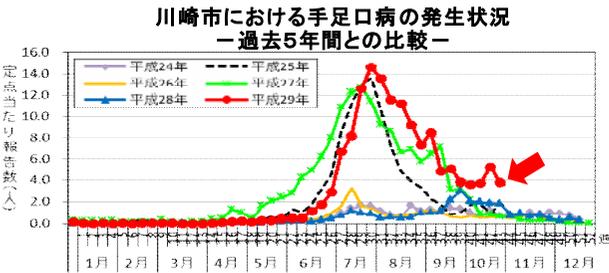
第44週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)手足口病 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は4.41人と前週（4.51人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。手足口病の定点当たり患者報告数は3.76人と前週（5.27人）から減少しましたが、例年よりかなり高いレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.78人と前週（2.84人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



流行発生警報継続中！！～手足口病～

手足口病は発熱や水疱性発疹を主症状とし、コクサッキーウイルスA群（C A）、エンテロウイルス71型（EV71）、エコーウイルスなどのウイルスを原因とする感染症です。通常、流行のピークは夏ですが、今年は全国的に10月以降も患者報告数が多くなっています。川崎市においても、例年と比較して患者報告数はかなり高いレベルで推移しています。

また、市内の保育園等では夏以降、集団感染事例の発生がみられるため、引き続き手洗いやタオルの共用を避けるなどの予防対策を徹底しましょう。



手足口病とは？

- **感染経路**
飛沫感染、経口感染、接触感染
- **潜伏期間**
3～5日間
- **主な症状**
発熱（38℃以下のことが多い。）
水疱性発疹（手のひら、足の裏、口の中）
- **合併症**
髄膜炎、脳炎など



EV71が検出されています..!

手足口病の原因ウイルスは、様々ですが、なかでもEV71は中枢神経系合併症の発生率が他のウイルスより高いことが知られています。